

事業計画開始年度	平成 27 年度
事業計画最終年度	平成 29 年度

都市農村共生・対流総合対策交付金における山村活性化支援対策

平成 29 年度 年度別山村活性化支援交付金事業実施計画

事業実施主体名 大江町美しい森林づくり協議会

所在地（都道府県・市町村） 山形県大江町

振興山村名 七軒村 指定番号 第 16 号

山村振興計画書 作成年度 H27 作成した自治体 大江町

1. 事業実施主体等

事業実施主体名 (市町村または地域協議会)(注1)		対象地域の都道府県・市町村(注2)			
オオエマチウツクシイモリゾクリキョウギカイ 大江町美しい森林づくり協議会		ヤマガタケンオオエマチ 山形県大江町			
振興山村名(注3)		シチケンムラ 七軒村			
		指定番号	第16号		
山村振興計画名(注4)		作成した自治体	大江町		
		作成年度(和暦)	平成27年度		
事業実施主体の代表者氏名		事業実施主体の住所及び連絡先			
大江町美しい森林づくり協議会 会長 荒木 俊男		〒990-1101 山形県西村山郡大江町大字左沢882番地の1 電話0237-62-2115(大江町農林課内)			
事務局(注5)		事務局所在地及び連絡先			
事務局長 大江町 農林課長 白田 敬一		〒990-1101 山形県西村山郡大江町大字左沢882番地の1 電話 0237-62-2115(大江町農林課直通) FAX 0237-62-4736(大江町代表) E-mail:jigyous2@town.oe.yamagata.jp			
主な活動組織等 (注6)	法人形態等(注7)	主な役割・活動	所在地 (市区町村)	設立年 (注8)	構成員数 (従業員数) (注8)
大江町美しい 森林づくり協議会	行政機関所属	森林整備、県産木材 の利活用の推進母体	大江町	平成21年	16名
【実践グループ】 森林関係	地域住民団体	森林施業の推進	大江町	平成27年	7名
【実践グループ】 大江町型住宅販 売会	地域住民団体	地産地消型家づく り、地域産木材の 活用の推進	大江町	平成24年	39名
【実践グループ】 山菜等利活用推 進コンソーシアム	地域住民団体	特用林産物の生産・ 販売体制整備 山菜等を活用した地 域産業の創出	大江町	平成26年	22名

関係団体・構成員は別添のとおり。

## 2. 地区の現状・課題と将来の姿等

<p>地区の概況</p>	<p><b>(地域の概況)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山形県の中央部に位置し、西に朝日連峰が連なり、南北も 500～1000m の山々に囲まれた溪谷型の山村であり、面積は 95.9 平方キロメートルで 95% が森林を占め、耕地は 1% に満たない。</li> <li>・気候は、内陸性積雪寒冷地気候で、積雪期間が 5 ヶ月にわたり特別豪雪地帯に指定されている。</li> <li>・主要地方道大江西川線を幹線とし、現在 11 の集落が散在し、平成 27 年度の国勢調査では人口は 317 人で、本町の減少率を大幅に上回っており、特に高齢人口 160 人 (50.5%) と非常に高く、森林・農用地などの管理機能が不十分な状況が続いている。</li> </ul> <p><b>(地域の現状)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木材価格の急落などにより基幹産業の林業の低迷が長引き、依然として人口の減少に歯止めがかからず、高齢化が進んでいる。</li> <li>・森林については、間伐等の森林整備が十分に行われておらず、林業生産活動を通じて発揮される自然環境の保全や、良好な景観形成など山村の有する多面的機能が十分に発揮されていない。</li> <li>・農地については、山間部に位置し、小規模な耕地が点在することから耕作条件が特に厳しく、農家の高齢化とともに耕作放棄地が増加している。</li> <li>・人口減少や高齢化の進行によりこれまで受け継がれてきた農林産物の生産技術や食文化、伝統芸能等が急激に失われようとしている。</li> </ul>
<p>地域資源の活用に関する現状と課題 (注1)</p>	<p><b>1. 本事業で活用を図ろうとする主な地域資源の利用の現状について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林・農用地の有する国土保全機能の発揮と付加価値の高い農産物への転換や森林施業の集約化など、持続可能な仕組みづくりを進めているなか、重点的に活用を図る地域資源は以下のとおりである。</li> </ul> <p><b>(森林：西山杉)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のブランド木材である「西山杉」は優良材としての知名度が高く、大江町型住宅等の建築用資材として一部利用され、安定的な出荷が期待されている。</li> <li>・木質バイオマスをはじめとする再生可能エネルギー源については、地域内での自給と地域外への供給もできる潜在力を有しているが、人材や労働力の不足、生産基盤や設備整備の遅れなどにより十分に活用できていない。</li> <li>・地元若者会が中心となって「七軒薪づくりプロジェクト」を立ち上げ薪づくりイベントや講習会を実施するとともに、薪の生産・販売に着手することとしている。</li> </ul> <p><b>(里地（農地）：山菜等)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山菜・きのこ等豊富な特用林産物は、地元の山菜加工施設で加工販売されるほか、生食用に周辺の産直施設に出荷されている。</li> <li>・西村山地域は山菜等の生産量が多く、山採りや自然栽培による生食用の商品が、都市部地域を中心に人気があり、一定量の山菜が流通・消費されている。</li> <li>・特に大江町においては、豊富な森林資源を有しているが、未利用な資源が多く、山菜等</li> </ul>

	<p>の生産・販売等の規模拡大が今後の課題となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 27 年度に大江町で開催された「全国山菜サミット」を契機として、山菜等の地域資源を活用した取り組みを加速化していく必要がある。</li> </ul> <p><b>2. その他の農林水産業に関連する地域資源の現状</b> (美しい里地・里山などの自然環境)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>豊富な森林資源をはじめとする自然環境、温泉、美しい里山の風景など、山村の条件を活かした都市住民との交流の場として活用されている。</li> <li>大江町が旧七軒西小学校を改修して、大江町山里交流館「やまさあーべ」を自然体験型宿泊施設として設置し、地域住民で組織する「さわらび会」が指定管理者となり管理運営を実施している。</li> </ul> <p><b>3. これらの地域資源を活用した所得・雇用の増大に向けた課題</b> 【地域の基幹産業の再生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基幹産業であった林業の振興を図り、資源として販売可能な森林を伐採して、山主にお金が入る仕組みづくりを行い、森林資源の循環利用を進めることで、地域雇用の確保と所得の増大に繋げることが必要となっている。</li> <li>具体的には、素材の生産から木材の加工、地域材の重要拡大に向けた住宅用部材の供給まで、川上から川下に至る森林資源の循環利用の仕組みづくりを行い、地域産業として再生して、中山間地域の安定した所得確保と、雇用の場として確立していくことが必要である。</li> <li>地域資源を活用し安定的に雇用を確保できる企業の育成に加え、地域の特性を生かした商品開発、販売促進、観光の振興による山村の活性化と定住促進が不可欠となっている。</li> </ul> <p>【地域が中心となった取組みの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人口減少に歯止めをかけ、地域の活力を取り戻すためには、農林業を営む地域住民が中心となった取組みを推進する必要がある、地域住民が森林や農地などの未利用な資源の循環利用に目を向けるシステムを構築するため、高齢者や女性が主役となる「手業や手技が小遣いになる仕組みづくり」や、企業や街場の応援を視野に入れた対策の検討を行う必要がある。</li> </ul>
<p>地域資源の活用に関する現状と課題 (注 1)</p>	<p><b>4. 課題に対するこれまでの取組状況</b> 【地域の基幹産業の再生】 (森林：西山杉)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>西山杉の利活用を推進するため、行政、森林組合、素材生産者、地域団体を含めた「西山杉利活用推進コンソーシアム」を設立し、川上から川下まで関係者が一体となった地域材の利活用の振興に着手している。</li> <li>大江町型住宅販売会と連携して、七軒地区を中心として生産される西山杉利活用の推進策の検討に着手している。</li> <li>七軒地区の住民が中心となって、未利用な森林資源を活用して、薪を生産・販売する仕組みづくりに着手している。</li> </ul> <p>【地域が中心となった取組みの推進】</p>

	<p><b>(里地(農地):山菜等)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>山菜等への潜在的な消費性向を踏まえ、山菜等の生産・販売による地域振興に繋げるため今年度大江町が主催して「全国山菜サミット」を開催した。現在「山菜等利活用推進コンソーシアム」を設立し、生産者から加工、販売、山菜料理店まで幅広く巻き込んだ山菜等の利活用の検討に着手している。</li> </ul> <p><b>(里山交流・山業ビジネス)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大江町山里交流館の活動母体である「さわらびの会」が中心となり、都市部住民や小中学生等を対象にした本格的な「山里体験プログラム」を展開している。</li> <li>ナラ枯れの被害木や山菜ゼンマイの綿から紡いだニット、西山杉、山形県産材合板、各種広葉樹などの地域材、その他の林産物や地域文化などを組み合わせ、在りし日の豊かな暮らしや自然に寄り添う新しい暮らしづくりを提案することを目的にして、地域団体が活動を開始している。また、林床に生息するクロモジ、タムシバなどの森林資源を原料にしたアロマ関連商品の開発を目指す山業ビジネスの試行にも着手している。</li> </ul>
<p>地区の将来像 (成果のイメージ)</p>	<p><b>(取組の方向性)</b></p> <p><b>「七軒地区の豊かな森林資源を活用した魅力ある地域づくり」を推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>西山杉、薪、山菜、自然環境等の地域資源を活用して雇用と定住を生む七軒独自のユニークな仕組みの構築と実践により、潤いのある豊かな中山間地域の再生を目指す。</li> </ul>
<p>特記事項</p>	

### 3. 事業実施計画（取組内容）

<p>取組方針</p>	<p>○「七軒地区の豊かな森林資源を活用した魅力ある地域づくり」</p> <p>特色ある林産物等の地域資源を活用した地域内発型の産業振興と、地域産品の高付加価値化、地域の個性を活かした都市との交流などによる魅力ある地域づくりを重点目標とする。</p> <p><b>【地域の基幹産業の再生】</b></p> <p>① 収益性の向上を目指した素材の有利販売体制や地域の実態に応じた経営追求型の組織体制の確立を行い、地域材の利用拡大による地域活性化を目指す。</p> <p>② 林家や地域内の素材生産者、製材業者が連携して、天然乾燥材の効率的な生産と住宅用部材を供給する仕組みづくりを行い、地域材の利用拡大による地域活性化を目指す。</p> <p><b>【地域が中心となった取組みの推進】</b></p> <p>③ 全国山菜サミットを契機として気運の向上がみられる山菜・きのこ等の生産を促進し、地域の料理店等とのコラボレーションによる山菜料理のメニュー化や新商品の開発等を目指す。</p> <p>④ 本地域の森林を活用した再生可能エネルギーの利用促進を図るため、公共施設を中心として木質バイオマスエネルギーの導入可能性を探るとともに、薪や木質チップ等の供給体制の整備を目指す。</p> <p>⑤ 西山杉等の森林資源を活用した木製品やアロマ関連商品の開発を行い、地域資源の総合利用化を目指す。</p> <p>⑥ 自然環境や地域資源を活用した体験参加型の「山里体験プログラム」を展開し、既存の交流施設を活用した参加交流型のビジネスモデルの構築を目指す。</p> <p><b>【やまがた森林ノミクスとの連携】</b></p> <p>大江町においては県と連携して林業等の振興と雇用の創出により「中山間地域の活性化」を目指す「やまがた森林ノミクス」を推進するため様々な林業関係の施策を推進している。</p> <p>本事業の実施は、「やまがた森林ノミクス」のモデルとなるもので、中山間の息を吹き返す絶好のチャンスと捉え、川上から川下に至る団体が連携して具体的な事業展開を図る。</p>
<p>本交付金 の内容 (注2)</p>	<p><b>1 事業の必要性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>再生可能なエネルギーや未利用な資源として注目されている森林資源等の利活用の推進が、森林率が高く、林業を中心とした産業で生計を立ててきた七軒地区の地域再生の鍵を握る。</li> <li>そのため、本交付金を導入して、西山杉、薪、山菜、自然環境等の地域資源を積極的に活用して、雇用と定住を生む七軒独自のユニークな仕組みづくりを推進する。</li> </ul> <p><b>2 事業の推進体制（管理体制）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大江町美しい森林づくり協議会が主体となり、川上の実施団体と調整を図りながら、川下の団体と連携して、事業の基本計画の検討、西山杉や未利用資源を活用した各種事業を展開する。</li> </ul> <p><b>3 地域の所得や雇用に直結する事業展開</b></p>

- ・七軒地区の森林資源等の利活用を推進するグループを中心とした多様な取組を、七軒地区の住民のみならず、川下の団体と連携して行い、山村資源が七軒地区の収入と雇用に直結するような事業展開を図る。

#### 4 事業の実施手順

- 《1年目》 地域の合意形成、基本計画の作成等を実施（場所、体制）
- 《2年目》 各種ビジネスモデルの試行（モデル林、試作品製作、商品開発）
- 《3年目》 試作品等のモニタリング、事業化に向けた検討、新商品開発

#### 5 各団体の具体的な取組み

##### (1) 林業経営モデルの構築

##### ① 経営モデル林の設置と素材の有利販売手法の確立

地域の森林所有者と連携して、経営モデル林設置と生産性等調査に係る業務委託を行いながら以下の検討を行う。

- ・天然乾燥材用素材の出荷体制の検討
- ・合板や燃料用素材の生産実態把握と販路確保の検討
- ・原木生産におけるコストシミュレーションの実施、実行経費との比較

##### ② 地域にふさわしい経営組織体の確立

地域の素材生産者の連携による「パートナーシップ型」の林業経営を目指す組織体制の検討を行う。

- ・素材の有利販売を目指した効果的な造材手法の検討、経営マニュアルの作成
- ・本格的な素材生産体制の立上準備（土場の確保、共同出荷、機械の共同購入、共同利用、補助金の受け皿づくり）

##### (モデル林の設置場所)

- ・新規林道開設予定箇所（林道沢口・道海線）
- (年度別計画)
- ・H27 :地域の共同作業システムの検討（森林づくり意見交換：素材生産の体制づくり）
- ・H28～29 :経営モデル林の設置と調査
- ・H28～29 :低コスト作業システムによる間伐等の森林整備  
(素材 80m<sup>3</sup> 以上⇒製材 60m<sup>3</sup> 以上)
- ・H28～29 :素材の有利販売を目指した効果的造材手法の検証  
※「経営マニュアル」の作成の基礎調査
- ・H29 :地域にふさわしい経営組織の検討

【実施団体】大江町美しい森林づくり協議会：生産部会（実践グループ）

【メンバー】大江町光林会、西村山地方森林組合、(有)庄司林業、金上林業、沢口区若者会

##### 【主な項目】

<モデル林検討>→<モデル林設置>→<低コスト生産システムの推進、素材の生産>

## (2) 天然乾燥材の生産・販売の仕組みづくり

### ① 天然乾燥材ストックヤードを設置するための基礎調査等の実施

七軒地区から生産された原木を活用して、地域の大工・工務店向けの「天然乾燥木材の効率的な生産と住宅用部材を供給する仕組みづくり」を行う。

- ・地域の製材業者等が連携して製材（荒引き）した製材品を天然乾燥材としてストック
- ・常時一定量の製材品を注文に応じて供給することができる天然乾燥ストックヤードの設置に係る基礎調査、基本計画の策定

#### (委託先案)

- ・木材利用コーディネーター  
(首都圏コンサルティング、林業関係研究所、企業等)

#### (業務委託の内容：基礎調査及び基本計画作成)

- ・先進地事例の紹介
- ・利用可能な場所の選定
- ・天然乾燥材生産量：町内外の需要に応じた規模の設定
- ・天然乾燥材備蓄量：常時ストックする量（住宅何棟分のストック）
- ・製材品流通に関する枠組み：町内外の団体・企業との連携、支援制度の提案
- ・流通のネットワークの確立：モデル的に連携する流通のネットワークの提案

### ② 天然乾燥材の試作品の制作とその技術マニュアルの作成、製品の販売等に係る大工・工務店の需要者側の市場調査

地元の森林所有者や製材業者、地元大工・工務店を含めた販売に係る住宅建築ネットワークと連携しながら、天然乾燥材の試作品の制作と、製品の販売等に係る大工・工務店の需要者側の市場調査を実施する。

- ・林家・林業事業体・製材所が連携して、「地域産材の伐採、葉付き乾燥、製材、製材品の効果的な乾燥手法」までを念頭においた試作品の製造
- ・製造コスト、販売単価、製品のモニタリング、乾燥技術等の検証
- ・大工・工務店等の需要者側の試作品についての評価

#### (原木の生産)

- ・七軒地区の経営モデル林等の間伐木を活用

#### (原木の荒引き)

- ・七軒地区及び周辺の製材工場

#### (試作品製造場所)

- ・廃校跡地のグラウンドなど七軒地域にストックポイントを確保

#### (年度別計画)

- ・ H28 ～29：間伐等の森林整備による「A材を中心とした素材生産（造材）」
- ・ H28 ～29：素材の製材：梁を含む住宅用部材の製材
- ・ H28 ～29：製材した住宅用部材の天然乾燥  
(部材の種類別に検討)
- ・ H29：天然乾燥した住宅用部材をストックヤードに展示・試作品  
(試作品は町の公共施設等で展示部材として活用)

【実施団体】大江町美しい森林づくり協議会：流通・活用部会（実践グループ）

【メンバー】大江町型住宅販売会（大江町製材組合、大江町総合建設組合、大江町大工組合、建設業者、金融機関、設計業者、木材生産者）

#### 【主な項目】

<基本計画作成※>→<試作品生産>→<試作品販売>

※ 外部コーディネーターを交えた基本構想の策定



### (3) 山菜等利活用推進プロジェクト

全国山菜サミットを契機として気運の向上がみられる、山菜・きのこ等の地域産物と多様な地域資源・団体とのコラボレーションによる新たな地域産業の創出を目指す。

- ・山菜を新たな食材としたメニューの提案、山菜料理のレシピづくり、体験試食会の開催
- ・地域の豊富な山菜等の資源を利用した新商品の開発、パッケージづくり。
- ・四季体験メニューを持つ自然体験型栽培の検討、温泉・宿泊施設と連携した山村体験ツアー等の開催

#### ① 全体プロデュース・コーディネート

・東京都在住で山菜をふんだんに使用した中華料理店（久保木シェフ）のプロデュースでブランド化を推進する。

#### ② 山菜等の生産振興（必要とされる山菜等の生産技術の開発）

##### (山菜の生産)

- ・七軒地区の農地（耕作放棄地）森林を活用

##### (山菜等の栽培者)

- ・山菜等利活用推進コンソーシアム（七軒林産部会等）が中心になって実施

##### (栽培方法)

- ・耕作放棄地や林床を活用した山菜等の多品目・自然栽培技術の確立（品目：わらび等）

##### (年度別計画)

- ・H27：山菜等の栽培手法の研修会、苗づくり
- ・H28：山菜等の試験植栽（植栽、管理）苗づくり
- ・H29：山菜等の試験植栽（植栽、管理、収量調査）

#### 【地域ビジネス創出】

#### ③ 郷土料理など地域の特色や体験型観光と連携した山菜料理等の提供

##### (山菜の提供)

- ・七軒地区の生産者が栽培した山菜を提供

##### (メニューの開発)

- ・山菜料理店のプロデュース

##### (手法)

- ・新ジャンル、郷土料理とのミックスでレシピ作成、飲食店等で提供

##### (年度別計画)

- ・H27：新メニュー開発を行う料理人を招いての山菜レシピづくり、試食会
- ・H28：町内、首都圏での山菜フェアの開催
- ・H29：体験型観光と連携した山のレストランの試行（山里交流館の体験型観光と連携）

**【販売体制強化（生食）】**

**④ 山菜生産者等を起点とした多様なチャンネルでの販売量の拡大**

**（山菜の提供）**

- ・七軒地区の生産者が栽培した山菜を提供

**（メニューの開発）**

- ・山菜料理店のプロデュース、提携企業と連携した生食用山菜の販売方法の検討

**（手法）**

- ・レシピ、献立の提案による給食での提供、産直等での生食用山菜の試食会

**（年度別計画）**

- ・H27：山菜給食の検討、生食用山菜の販売方法の検討
- ・H28：山菜給食の試行、生食用山菜の試食会
- ・H29：山菜給食の試行、生食用山菜の試食会

**【販売体制強化（加工）】**

**⑤ 商品の差別化、販売方法の工夫による地域加工品の開発**

**（山菜の提供）**

- ・七軒地区の生産者が栽培した山菜、加工品の提供

**（販売方法の検討）**

- ・企画会社等と連携、アンテナショップ、通販との連携

**（手法）**

- ・企画会社と連携した新たなオリジナル商品の開発

**（年度別計画）**

- ・H27：地域販売加工品の売り方の検討
- ・H28：山菜加工品のパッケージ化、新たなオリジナル商品の試作
- ・H29：県内、県外（仙台圏、首都圏）での新商品販売の試行（アンテナショップ、通販）

**※（３）の①～⑤まで**

**【実施団体】** 大江町美しい森林づくり協議会：流通・活用部会（実践グループ）

**【メンバー】** 山菜等利活用推進コンソーシアム（24団体）

**【主な項目】**

- ＜林地や耕作放棄地を活用した山菜等の生産技術開発＞→＜七軒ブランドの確立＞
- ＜山菜料理レシピ開発＞→＜山菜体験メニュー開発＞→＜6次産業化＞

#### (4) 森林資源を活用したビジネスの創出

##### ① 山業プロジェクト (製品製作)

- ・七地域の文化や山林資源を組み合わせた豊かな暮らし、社会づくりをお手伝いするプロジェクトとして、七軒地域で生産される西山杉等の森林資源を活用した木製品を活用した商品開発を行い、地元の所得や雇用の拡大に繋げる。

###### (西山杉の提供)

- ・七軒地区の素材生産者が生産した木材 (製材端材)

###### (生産者)

- ・地域団体 (sortennen)

###### (手法)

- ・企画会社と連携した新たなオリジナル商品の開発
- ・地産地消の再提案、森林資源を身近に感じてもらうワークショップ

###### (年度別計画)

- ・H28 ~29年 : 西山杉を活用した製品のワークショップ開催  
: 既存製品をブラッシュアップした「新たなオリジナル商品」の試作

##### ② 山業プロジェクト (アロマ商品開発)

- ・地域の文化や山林資源を組み合わせた豊かな暮らし、社会づくりをお手伝いするプロジェクトとして、『クロモジ』『タムシバ』から精油と芳香蒸留水を精製し、成分分析を行った上で健康補助製品の様な形で販売する仕組みを構築する。

###### (材料の提供)

- ・七軒地区の素材生産者が森林から採取

###### (生産者)

- ・地域団体 (国有林採取)、蒸留 (工房)、品質 (アロマインストラクター)、販売 (旅館)

###### (手法)

- ・作業チームによりアロマ製品の蒸留、試作品製造、成分分析、商品化の検討 (精油、芳香蒸留水、お茶)

###### (年度別計画)

- ・H28 : クロモジ、タムシバを使った精油、フローラルウォーターの試作品開発 (試作品の成分分析、試作品の効能調査、製品PR)
- ・H29 : 製品化の検討、販売ルートの検証

③ 山業プロジェクト（薪エネルギー利用プロジェクト）

- ・地域内のスギ人工林の間伐材・林地残材及び広葉樹林の薪用原木を特定の作業ヤードにストックして、地域山林所有者の副収入源とするため、薪の生産・販売体制づくりを行う。
- ・都市部薪ストーブユーザーと交流を図りながら薪用原木を販売する仕組みづくりを行う。
- ・地域の宿泊施設（やまさあーべ等）の給湯用薪ボイラに年間を通じて薪を供給できるように薪ボイラへの燃料供給システムづくりを行う。

（薪の生産）

- ・スギ人工林の間伐材・林地残材の活用、広葉樹林の伐採

（生産者）

- ・大江町美しい森林づくり協議会：生産部会（実践グループ：地域団体）

（手法）

- ・原木からの薪の生産、販売、ストックヤードへの搬入、燃焼施設までの運搬等に係る薪供給体制のシステム化

（年度別計画）

- ・H28：薪づくりシステムの検討、薪づくり場の提供
  - ：薪の生産・販売を通じた都市部との人的・経済的交流（薪づくりイベント）
- ・H29：薪の生産・販売を通じた都市部との人的・経済的交流（薪づくりイベント、薪づくりショップ）
  - ：薪ボイラへの燃料供給システムづくり（研修会）
  - ：燃料店と連携した宅配システムの構築（研修会）

**【1年目：平成27年度】**

**3. 特色ある地域資源の消費拡大や販売促進、付加価値向上等を図る取組**

**③山菜等利活用推進プロジェクト**

**【生産体制強化】**

○山菜等の栽培手法の研修会、苗づくり

「ワラビのポット苗栽培研修会」

平成28年3月17日 大江町小倉交流館にて開催

主催：大江町美しい森林づくり協議会

対象者：七軒林産部会 等

参加者：73名

講師：西川町 工藤勝昭

山形県林業普及専門員 須藤泰典

内容：わらびのポット苗による親株づくりと苗づくり実習

**【販売体制強化】**

○生食販売用山菜のレシピ及び下処理検討

「大江町山菜等プロジェクト調査打合せ」

平成28年3月8日 東京都江東区永代「酒家華福寿」にて実施

参加者：4人（生産者代表1名、管理栄養士1名、JA さがえ西村山大江営農センター長1名、事務局1名）

打合内容：

- ・大江町山菜等プロジェクトの取組みについて
- ・レシピ集作成の監修と来町依頼
- ・大江町山菜フェアにおける食材の搬入について（方法、量）
- ・下処理方法について（塩蔵、乾燥物）

**【平成28年度】**

**1. 地域資源の賦存状況・利用形態等の調査**

**①林業経営モデルの構築**

○ 地域の共同作業システムの検討（森林づくり意見交換会）

- ・「森林づくり意見交換会」

主催：大江町美しい森林づくり協議会

対象者：七軒林産部会、光林会 等

開催日：平成29年2月24日

場所：柳川温泉

講師：株式会社 フォワードさんぜ代表 鈴木 正

内容：地域特性を生かした活性化の取り組み

参加者 36名

○ 地域の森林所有者と連携した経営モデル林設置と生産性等の調査

- ・経営モデル林間伐実施業務

委託業者 金上林業 委託金額 786,240 円

- 素材の有利販売を目指した効果的造材手法の検討
- これら原木生産におけるコストシミュレーションの実施、実行経費との比較

- ・生産性等調査委託業務

委託業者 大江町光林会 委託金額 367,200 円

## ②天然乾燥材の生産・販売の仕組みづくり

- 天然乾燥材ストックヤードの設置、販売戦略を構築するための基礎調査、基本計画策定
- ・天然乾燥材（製材品）ストックヤード整備基礎調査・基本計画作成業務

委託業者 山形県木材産業 委託業者 2,218,320 円

- ・先進事例研修

主催：大江町美しい森林づくり協議会

対象者：七軒林産部会、光林会 等

開催日：平成 29 年 2 月 24 日 「森林づくり意見交換会」と併せて

場所：柳川温泉

講師：株式会社 松栄商事 代表取締役 鈴木 英昌

内容：天然乾燥材の管理の話題提供と仕組みづくり

講師：株式会社 四季工房 代表取締役 野崎 進

内容：住宅建築の話題提供と薪販売の仕組みづくり

参加者 36 名

- 天然乾燥材の試作品の制作
- 林家・林業事業体・製材所が連携して「地域産材の伐採から、製材、製材品の効果的な乾燥手法」までを念頭においた試作品を製造

- ・天然乾燥材生産・管理業務

委託業者 大江町製材組合 委託業者 1,209,600 円

## 2. 地域資源を活用するための合意形成、組織づくり、人材育成

### 大江町美しい森林づくり協議会

- 研修会、部会等開催

主催：大江町美しい森林づくり協議会

対象者：七軒林産部会、光林会 等

開催日：平成 29 年 2 月 24 日 「森林づくり意見交換会」と併せて

場所：柳川温泉

講師：三浦 秀一 教授

内容：全体の総括および大江町の取り組みに対する意見

参加者：36 名出席

## 3. 特色ある地域資源の消費拡大や販売促進、付加価値向上等を図る取組

### ③山菜等利活用推進プロジェクト

【生産体制強化】

○ 山菜等の試験植栽（植栽（森林、耕作放棄地）、管理（下刈、親株づくり 苗づくり））

・試験栽培 畑地（本郷地区）、田（貫見地区）、林地（沢口地区）計 30a 実施

○山菜等の栽培手法の研修会

主催：大江町美しい森林づくり協議会

対象者：七軒林産部会、新規就農者 等

・内容：ワラビのポット苗研修（ポット定植）

開催日：平成 28 年 7 月 12 日

場所：貫見地区

参加者：53 名参加

・内容：ワラビのポット苗研修（ポット苗作成）

開催日：平成 29 年 3 月 22 日

場所：貫見地区

参加者：28 名参加

#### 【地域ビジネス創出】

○ 町内山菜フェア（試食者総数 297 人、取り組みメニュー 18 種）

○ 体験型観光と連携した山のレストランの検討

・内容：久保木シェフの山菜中華料理試食会（冷やし中華、棒棒鶏、中華風山菜汁）

主催：大江町美しい森林づくり協議会

対象者：美しい森林づくり協会及び協力団体及び一般町民

開催日：平成 28 年 5 月 27 日

場所：山里交流館

参加者：90 名参加

・内容：久保木シェフのきのこ料理教室

（青芋の焼きラーメン、鳥肉の塩蒸し焼き、水煮キノコの芙蓉仕立て、柿とリンゴの白ワインコンポート）

主催：大江町美しい森林づくり協議会

対象者：町内外の参加希望者

開催日：平成 28 年 11 月 13 日

場所：中央公民館

参加者：19 名

・内容：調理実習（かつおの叩き香味野菜、筍の海苔巻、筍のお味噌汁、蕨の葛叩き）

主催：大江町食生活改善組合

対象者：大江町食生活改善組合 他

開催日：平成 28 年 5 月 28 日

場所：大江町保健センター

参加者：26 名参加

- ・内容：調理実習（五目ぶかし、山菜つくね、つるむらさきかき玉汁）  
 主催：大江町食生活改善組合  
 対象者：大江町食生活改善組合 他  
 開催日：平成 28 年 7 月 14 日  
 場所：大江町保健センター  
 参加者：18 名参加
- ・内容：調理実習（赤ごみのナムル、細竹入り山菜汁）  
 主催：大江町食生活改善組合  
 対象者：大江幼稚園児 他  
 開催日：平成 28 年 9 月 5 日  
 場所：大江町保健センター  
 参加者：28 名参加
- ・内容：亘理町食生活改善組合との交流会時の山菜試食（赤ごみのごま油醤油和え）  
 主催：大江町食生活改善組合  
 対象者：亘理町食生活改善組合 他  
 開催日：平成 28 年 9 月 29 日  
 場所：大江町中央公民館  
 参加者：34 名参加
- ・内容：健康づくり教室での健康的な山菜料理試食開発（とびたけ吹かしごはん）  
 主催：大江町  
 対象者：全町民  
 開催日：平成 28 年 11 月 12 日  
 場所：大江町中央公民館  
 参加者：100 名参加
- 大江町独自の山菜レシピ集の作成  
 平成 29 年 3 月 31 日  
 平成 28 年度の取組み及び久保木シェフの山菜中華レシピ 200 部印刷、納品
- 首都圏での華福寿山菜フェアの開催  
 主催：大江町森林づくり協議会  
 開催日：平成 28 年 5 月 9 日～11 日  
 場所：東京都江東区「酒家華福寿」  
 参加者：4 名  
 販売額：235,575 円（仕入、販売物ともに交付金対象外）  
 ※8 割ほど直接販売できた。残りの 2 割は久保木氏買い取り



#### 【販売体制強化（生食）】

- 町内学校における山菜給食の試行  
平成 28 年 5 月 大江中学校にて実施
- 町内の道の駅、交流館等の産直施設での試食会、販売方法検討  
内容：榎あきた森の宅配便の山菜の高付加価値の販売方法研修  
主催：大江町美しい森林づくり協議会  
対象者：美しい森林づくり協会及び協力団体  
講師：榎あきた森の宅配便 代表 栗山 奈津子氏  
開催日：平成 28 年 7 月 14 日  
場所：秋田県小坂町  
参加者：13 名参加
- 町外の提携企業と連携した生食用山菜の試食会、販売方法検討  
・内容：山菜フォーラム  
主催：大江町美しい森林づくり協議会  
対象者：美しい森林づくり協会及び協力団体及び一般町民  
講師：カインズ商配榎 代表取締役 大滝 学  
開催日：平成 28 年 5 月 27 日（山菜中華料理試食会と併せて実施）  
場所：山里交流館  
参加者：90 名参加

#### 【販売体制強化（加工）】

- 大江町で販売している山菜加工品のパッケージ化、販売方法検討
- 企画会社と連携した新たなオリジナル商品の試作、販売方法検討  
・山菜等加工品新商品開発業務  
委託業者 柳川山菜加工所 委託額 550,800 円  
・山菜等パッケージ検討業務  
委託業者 庄司林業 (so-tennen) 委託額 432,000 円

#### ④森林資源を活用したビジネスの創出

[アロマ]：試作品の成分分析、効能調査

- ・成分分析業務  
委託業者 山形大学 委託額 217,620 円
- ・ストレスホルモン調査  
主催：大江町美しい森林づくり協議会  
被験者：10 名  
開催日：平成 29 年 3 月 19 日  
場所：山里交流館

[薪エネ]：薪づくりシステムの検証、薪づくり場の提供

- 主催：大江町美しい森林づくり協議会  
対象：大江薪クラブ及び一般町民

開催日：平成 28 年 10 月 30 日

場所：旧マルシン石油敷地

参加者：47 名

### 【3 年目：平成 29 年度】

#### 1. 地域資源の賦存状況・利用形態等の調査

##### ①林業経営モデルの構築

- 地域の森林所有者と連携した経営モデル林設置と生産性等の調査
- 素材の有利販売を目指し効果的造材手法を含めた経営マニュアルの作成
- 新たな経営体の組織の立ち上げ準備  
(土場の確保、共同出荷、機械の共同購入・共同利用、補助金の受け皿づくり)

##### ②天然乾燥材の生産・販売の仕組みづくり

- 天然乾燥した住宅用部材(試作品)をストックヤードに展示
- 天然乾燥材の試作品の評価、性能調査

#### 2. 地域資源を活用するための合意形成、組織づくり、人材育成

##### 大江町美しい森林づくり協議会

- 研修会、部会等開催

#### 3. 特色ある地域資源の消費拡大や販売促進、付加価値向上等を図る取組

##### ③山菜等利活用推進プロジェクト

###### 【生産体制強化】

- 山菜等の試験植栽(植栽(森林、耕作放棄地)、管理(下刈、親株づくり 苗づくり)、収量調査)
- 山菜等の栽培手法の研修会

###### 【地域ビジネス創出】

- 町内山菜フェア(町内飲食店や宿泊施設での限定提供)
- 体験型観光と連携した山のレストランの試行

###### 【販売体制強化(生食)】

- 町内学校における山菜給食の試行
- 町内の道の駅、交流館等の産直施設での試食会、販売方法検討
- 町外の提携企業と連携した生食用山菜の試食会、販売方法検討

###### 【販売体制強化(加工)】

- 県内、県外(仙台圏、首都圏)での新商品販売の試行(アンテナショップ、通販)

##### ④森林資源を活用したビジネスの創出

【製品】：西山杉を活用した製品のワークショップ開催、既存製品のブラッシュアップ、新たなオリジナル商品の試作

【アロマ】：研修会開催、販売ルートの検証、製品PR

[薪エネ]：薪の生産・販売を通じた都市部との人的・経済的交流  
 ：薪ボイラへの燃料供給システムづくり、  
 ：燃料店と連携した宅配システムの構築

事業目標  
 (成果指標等)

指標	現在 (H26)	1年目 (H27)	2年目 (H28)	事業目標の 達成年度 (H29)
○新規雇用者の確保 (山のレストラン) (現状：なし)	0	0	0	雇用1名 1000食 所得50万円 ※交付金充当なし
○新規雇用者の確保 (薪の生産・販売) (現状：16棚)	0	0	薪棚 20棚	雇用1名 50棚 所得50万円 ※交付金充当なし
○西山杉素材生産量 (現状：1,500 m <sup>3</sup> )	0	0	40 m <sup>3</sup> 原料で支給	40 m <sup>3</sup> 原料で支給
○天然乾燥材生産 (現状：700 m <sup>3</sup> )	0	0	30 m <sup>3</sup> 展示用検証用	30 m <sup>3</sup> 展示用検証用
○山菜等の生産量 (現状：6 t：わらび)	0	0	0.33 t 試験栽培	0.33 t 試験栽培
○山菜等の加工量 (現状：1,000食：山菜ランチ)	0	0	150食 山菜フェア 試食	150食 山菜フェア 試食
○新たな開発商品数 (現状：西山杉、アロマ試作品)	0	0	1商品	2商品

※ 試験的事業展開により生産量を増加させる分を計上

※ 金額は販売収入を記載（経費を差し引きした純利益ではない）

【事業目標に関する成果指標の選定の考え方】

- 地域の森林資源等を活用した製品、加工品等の生産量・販売高を目標に設定しており、それが地域の雇用、所得に直結する。

【 目標値設定の考え方、増加割合の根拠となるデータ 】

○ 新規雇用者の確保（山のレストラン）

- ・ 平成 29 年度の 9 月以降に、山里交流館の施設を利用した山のレストランをオープンする。
- ・ これまで山菜フェア等で開発したメニューを参考に、独自のレシピを開発して、地元山菜を活用した料理を提供する。通年で 1 名雇用するものとし、29 年度は 1,000 食の山菜ランチ等の販売を目指す。（1,000 食×1,000 円=100 万円）
- ・ 平成 30 年度以降は、顧客を大幅に確保し 3,000 食の年間販売と、300 万円の年間収入の確保を目指すとともに、山菜の加工品、わらびの生食販売に取り組むものとする。

○ 新規雇用者の確保（薪の生産販売）

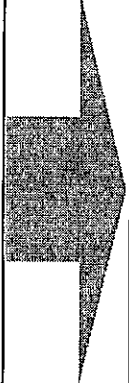
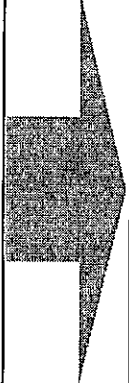
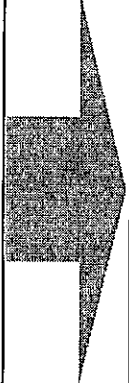
- ・ 平成 29 年度は、燃料店と連携した薪づくりイベント等を開催して、顧客を確保し、山里交流館等を拠点にした薪販売を本格的に開始する。通年で 1 名が薪づくりと販売に従事するものとし、29 年度は 50 棚の販売を目指す。（50 棚×2 万円=100 万円）
- ・ 平成 30 年度以降は、顧客を大幅に確保し 200 棚の年間販売と、400 万円の年間収入の確保を目指す。また、併せて西山杉を活用した製材品の販売等も行い、地域の森林資源の利活用の推進と雇用の拡大を目指す。

（その他）

- 西山杉の素材生産については、現状では年間 1,500 m<sup>3</sup>程度生産され地元の製材工場等に販売されている。それに加えて、年間 0.5ha（40 m<sup>3</sup>）の素材を生産し、その素材を天然乾燥した高品質な製材品（30 m<sup>3</sup>）を販売する仕組みづくりを行う。  
したがって、28 年度、29 年度に素材生産した（80 m<sup>3</sup>）から、（60 m<sup>3</sup>）の高品質な製材品を生産し、試作品として公共施設等で展示・活用するとともに、その展示効果により、平成 30 年度からの本格生産・販売を目指す。
- 山菜等の生産量については、28 年度から毎年 1 ha（10a）新たな植栽を実施すると、30 年度以降に、ある程度の「わらび」が収穫できる環境づくりを行う。
- 山菜ランチについては、地域の公共施設等で 1,000 食ほど販売されているが、新たなメニュー開発を行い、28 年度及び 29 年度に試食会（山菜フェア）を行い、150 食の試食を町内で提供する。

【 目標値の確認方法 】

- 大江町農林課において独自に「森林ノミクス基礎調査（各団体からの聞き取り調査）」を実施し、その結果を受けて、大江町政策推進課で内容評価、実績の確認を行って、次年度以降の実施体制や取組みの方針等について取りまとめる。
- 大江町美しい森林づくり協議会においては、取りまとめの結果を受け、次年度以降の具体

	<p>的な実施方針等の見直しを行い、効率的な事業の執行体制を確保する。</p> <p><b>【 取組内容がどのように成果目標の達成につながるのか 】</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 西山杉の素材生産・販売</li> <li>○ 天然乾燥材の生産・販売 (大江町型住宅の住宅用部材)</li> <li>○ 山菜等の生産・販売</li> <li>○ 山菜料理の販売</li> <li>○ 新商品の開発</li> <li>○ 薪の生産・販売</li> <li>○ 山里交流館の利用 (宿泊客)</li> </ul> </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">  </td> <td style="width: 40%; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地元森林所有者の所得</li> <li>○ 地元製材工場の売上 (大江町型住宅の建築)</li> <li>○ 地元山菜等の生産者の所得</li> <li>○ 地元山菜等の販売店の売上 (加工業者、料理店)</li> <li>○ 地域団体の売上</li> <li>○ 地元薪生産者の所得</li> <li>○ 山里交流館の売上</li> </ul> </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 西山杉の素材生産・販売</li> <li>○ 天然乾燥材の生産・販売 (大江町型住宅の住宅用部材)</li> <li>○ 山菜等の生産・販売</li> <li>○ 山菜料理の販売</li> <li>○ 新商品の開発</li> <li>○ 薪の生産・販売</li> <li>○ 山里交流館の利用 (宿泊客)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地元森林所有者の所得</li> <li>○ 地元製材工場の売上 (大江町型住宅の建築)</li> <li>○ 地元山菜等の生産者の所得</li> <li>○ 地元山菜等の販売店の売上 (加工業者、料理店)</li> <li>○ 地域団体の売上</li> <li>○ 地元薪生産者の所得</li> <li>○ 山里交流館の売上</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 西山杉の素材生産・販売</li> <li>○ 天然乾燥材の生産・販売 (大江町型住宅の住宅用部材)</li> <li>○ 山菜等の生産・販売</li> <li>○ 山菜料理の販売</li> <li>○ 新商品の開発</li> <li>○ 薪の生産・販売</li> <li>○ 山里交流館の利用 (宿泊客)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地元森林所有者の所得</li> <li>○ 地元製材工場の売上 (大江町型住宅の建築)</li> <li>○ 地元山菜等の生産者の所得</li> <li>○ 地元山菜等の販売店の売上 (加工業者、料理店)</li> <li>○ 地域団体の売上</li> <li>○ 地元薪生産者の所得</li> <li>○ 山里交流館の売上</li> </ul>		
<p>事業完了後に期待される効果</p>	<p>「七軒地区の豊かな森林資源を活用した魅力ある地域づくり」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 川下と一体となった取組みにより、林業の振興のみならず、製材業者、住宅販売業者まで、一体となった販売額の増加が見込まれる。</li> <li>○ 併せて、健全な林業の維持発展を通じた林地の保全が図られる。</li> <li>○ 農林産物の生産・販売量の増加に伴い、農林家の経営安定化・雇用の拡大による定住が促進される。</li> <li>○ 併せて、農地の積極的な利活用により耕作放棄地の解消が図られる。</li> <li>○ 地域の特色を生かした山菜等の料理、地域加工品の開発により、商業ベースでの売上増が見込まれる。</li> <li>○ 森林資源等を活用した新商品開発等、地域内発型の産業振興が図られる。</li> <li>○ 地域の個性を活かした都市との交流や観光の振興による地域産品の高付加価値化と魅力ある地域づくりが図られる。</li> </ul> <p>◆ このように多様な分野で地域資源を積極的に活用して、雇用と定住を生む七軒独自のユニークな仕組みづくりが推進する。</p>			
<p>持続性・自立性等</p>	<p>《持続性・継続性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大江町が主導して設置した「大江町美しい森林づくり協議会」(H21)が中心となり、川上から川下までの団体をコーディネートする仕組みができており、地域ぐるみの合意形成、組織づくり、地域資源を活用した持続可能な事業展開を図ることが可能である。</li> <li>○ 西山杉・山菜等の生産においては、川下の加工・販売者と一体となった取組みによる、大江町独自のブランド化を推進することが可能となる。</li> </ul>			

○ 大江町が推進している林業等の振興と雇用の創出を図り「中山間地域の活性化」を目指す「やまがた森林ノミクス」の理念に基づき、川上から川下に至る幅広い団体が参画した「大江町の美しい里地・里山づくり」が推進される。

《自立性》

○ 大江町美しい森林づくり協議会が主体となり、七軒地区の実践団体や川下の団体と連携しながら、事業計画の作成から実践・検証まで実施する体制が構築されている。

事業実施体制図

